九州名鉄運輸株式会社　2023年度　運輸安全マネジメント推進概要

推　進　項　目	計　画　及び　実　施　状　況

輸送の安全に関する基本的な方針

2023年度　運輸安全マネジメント安全方針

① **安全が,すべてにおいて優先する。**
② **継続的に輸送の安全性向上に努める**
③ **法令・規則・社会規範を遵守する**

輸送の安全に関する目標及びその達成状況

2022年度　輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

			目標件数		
① 重点施策中長期的目標	⇨	有責運転事故の削減	評価✕	24件 以下	（　前年実績　29件）
② 重点施策単年度目標	⇨	構内・駐車場内運転事故の削減	評価✕	7件 以下	（　前年実績　13件）

2023年度　安全重点施策

			目標件数		
① **重点施策中長期的目標**	⇨	有責運転事故の削減	削減目標	**24件** 以下	（前年実績　31件）
② **重点施策単年度目標**	⇨	構内・駐車場内運転事故の削減	削減目標	**7件** 以下	（前年実績　14件）
③ **添乗指導（ｱﾌﾀｰﾌｫﾛｰ）の実施**		初任・事故惹起者への添乗指導の実施	1ヵ月・3ヵ月・6ヵ月・9ヵ月・12ヵ月・18ヶ月・24ヵ月計画的に実施		

自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

2022年度　発生件数　1件

類 型 別	発生件数
第２条３項（死者または重傷者を生じた事故）	1件

輸送安全確保に講じた措置と講じようとする措置

2022年度　講じた措置

		P（目標）	D（対策）	C（評価）	A（見直し）
①	有責事故の削減	制服・**制帽**・制靴の正しい着用 **左折時**　①徐行にて左折 ②横断歩道手前で一時停止 ③指差呼称による安全確認の実施	①店所長による1日5分5件のDR検証 ②管理者と乗務員よる面談形式のDR検証にて運転内容に応じた指導と安全運転評価の実施	A評価	優良ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ映像のｱｯﾌﾟﾛｰﾄﾞ
				B上評価 B中評価	月二回のDR25項目検証を実施し　1 ランクUP指導を行う
②	構内・駐車場事故の削減	①徐行運転　②下車確認 ③乗車手順　の厳守 **後退時の4点確認** ①左ﾐﾗｰ②ﾓﾆﾀｰ③右ﾐﾗｰ（指差呼称） ④目視確認		B下評価 C評価	指導書発行 支社安全教育 支社添乗指導 店所長添乗指導

2023年度　講じようとする措置

		P（目標）	D（対策）	C（評価）	A（見直し）
①	**有責事故の削減**	制服・**制帽**・制靴の正しい着用 **左折時**　①徐行にて左折 ②横断歩道手前で一時停止 ③指差呼称による安全確認の実施	①店所長による1日5分5件のDR検証 ②管理者と乗務員よる面談形式のDR検証にて運転内容に応じた指導と安全運転評価の実施	**A評価**	**優良ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ映像のｱｯﾌﾟﾛｰﾄﾞ** **年間優良ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ表彰**
				B上評価 **B中評価**	**月2回の検証で1ﾗﾝｸＵＰ指導を行う** **店所長・指導員による添乗指導**
②	**構内・駐車場事故の削減**	①徐行運転　②下車確認 ③乗車手順　の厳守 **後退時の4点確認　指差呼称による** ①左ﾐﾗｰ②ﾓﾆﾀｰ ③右ﾐﾗｰ④目視確認		**B下評価** **C評価**	**※指導書発行※ランクＵＰまで毎日検証** **支社安全教育** **支社添乗指導** **店所長添乗指導**
③	**添乗指導（ｱﾌﾀｰﾌｫﾛｰ）の実施**	**初任ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰの添乗指導（ｱﾌﾀｰﾌｫﾛｰ）** **事故惹起者の添乗指導（ｱﾌﾀｰﾌｫﾛｰ）**	**支社・店所で実施**	**選任日から** **再乗務から**	**1ヵ月・3ヵ月・6ヵ月・9ヶ月・12ヶ月** **18ヶ月・24ヵ月毎計画的に実施（支社管理）**

輸送安全に関する教育及び研修の実施状況

2022年度　安全に関する研修等実施状況

管理者・運転者に対する研修

① ヒヤリ・ハット情報報告	225件	⑤ 事故惹起添乗指導件数	36件
② ﾋﾔﾘﾊｯﾄ・車両事故なぜなぜ分析件数	123件	⑥ 外部研修・講習（管理者・乗務員）	10名
③ 初任運転者研修	35名	⑦ 門前点呼	126件
④ 初任運転者添乗指導件数	239件	⑧ ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰ検証による指導 延べ	1,277件

2023年度　**・・安全に関する教育・研修計画：年間計画を立て前年同様、実施します**

輸送の安全に係る内部監査結果及それに基づき講じた措置及び講じようとする措置

内部監査結果

2022年度　**内部監査を内部監査実施要項に基づき実施しました。**

講じた措置

① 経営層による主体的な現場巡回（運転無事故表彰等）・メッセージの発信
② 左折時の横断歩道手前で最徐行一時停止による指差呼称を開始（車両後部にステッカーを張付け）
③ 1日5分5件の店所長によるﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰ映像検証の実施と安全運転ランク評価を実施
④ 運転時ヒヤリ・ハット情報の収集推進
⑤ 運転時以外の業務におけるヒヤリ・ハット情報によるリスクアセスメント調査と対策の水平展開
⑥ 構内後突事故・リフト事故・商品事故撲滅ｷｬﾝﾍﾟｰﾝを展開(7月・8月・3月)

私は左折時に横断歩道手前で最徐行一時停止します。 九州名鉄運輸

2023年度　内部監査実施要項に基づき2023年度12月に実施します。

安全統括管理者に関する情報

① 役員会・店所長会議・管理者研修会等において、安全管理の現況と当面の対応要点を明示する とともに、実行ある対策の立案と推進に努めています。
② 計画的な現場巡回と職場環境の改善対策も含め、事故の未然防止対策を積極的に実施 しています。

行政処分について

2022年度（2022年4月～2023年3月）の行政処分は、ありません。

輸送の安全に関する予算等の実績

2022年度　**講じた措置**　　安全管理年間投資額 ¥11,018,000

①	安全機器・運行管理機器等導入費用	2,880,000	③	安全に係る教育・研修費用	1,657,000
	デジタコ・ドライブレコーダー機器導入等			運行管理者基礎講習・適性診断・管理者研修・初任ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ研修費等	
②	安全に係る社員表彰(運転無事故表彰)	5,269,000	④	免許取得・資格	1,212,000
	運転無事故個人表彰　対象者70名（内　9千日1名・7千5百日4名・6千日8名・他126名）			大型運転免許・ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ運転技能講習等	

2023年度　講じようとする措置　　輸送の安全に関する予算 ¥12,000,000

事故・災害に関する報告連絡体制

「安全管理規程」の添付資料である「運輸安全マネジメント組織図」で定めています

輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

「名鉄ｸﾞﾙｰﾌﾟ共通規程・事故・災害時の報告体制」で定めています

掲示期間：2024年3月31日